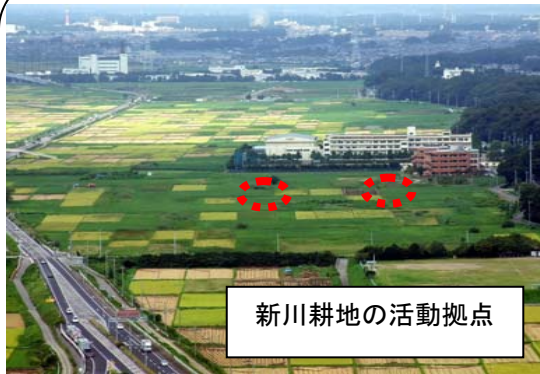




## 【団体概要】

- 目的：ホタルとホタルが自生する自然環境の復活・再生
- 活動場所：流山市・新川耕地、長崎田んぼなど水田。A地点（注＝非公開）などの湧水池。利根運河などの河川
- 構成員：役員10人、会員数75人（役員含まず）
- 活動領域：ハイケボタルの飼育・放流。鑑賞会。ゲンジボタル調査・研究。ホタル出前講座。無農薬・有機栽培によるコメづくり。

## 活動紹介



新川耕地の活動拠点



ホタルの保護と復活 再生活動2008年度



▲放流と▼鑑賞会



▲子育てボランティア説明会

## 【主な活動実績】

- いままで取り組んできた活動実績
  - ・流山市民活動公益事業「ホタルの復活と再生事業」
  - ・「園芸ちば」強化支援事業「都市農業支援事業」
- 受賞歴
  - ・コカ・コーラ環境教育賞主催者賞受賞

## モデル事業

不耕起・移植栽培による市民型生物多様モデルの探求事業  
——安全・安心なお米とホタル等のサンクチュアリづくり

- 事業期間：2008年9月1日～2009年1月31日
- 事業の目的：**生きものいっぱいの稲作**を説く岩澤信夫氏の「不耕起栽培」に市民が取り組み、ホタルも乱舞する自然環境と安全なお米を取り戻す。

## 活動の内容



■仲間づくりへ岩澤信夫氏講演会＝イネ本来の健康な苗・成苗を、耕さず固くした田んぼで「スパルタ教育」する不耕起栽培は、農薬、除草剤、化学肥料を一切使わない自然農法。耕作放棄が進む流山市・新川耕地で面的な展開ができないかと、岩澤氏の講演会を（演題・生きものいっぱいの稲作）開いたところ、長野、新潟、静岡などの遠隔地からも参加を集め、立見席もできる大盛況。



■冬季湛水＝稲わら、米ぬかを散布して水を張る（写真左）。また田んぼの生きもの調査を開始（写真右）



## 今後の方向性

<モデル事業の成果>岩澤講演会で行ったアンケート調査では、不耕起栽培への仲間づくりに大きな反応が得られ、参加意思の表明は合計63人（回答割合70.0%）に達した。

<今後の取り組み>2009年は不耕起栽培を実習する「自然耕塾」に会員1人が参加、学びながら逐次これをホタル野田んぼ10aで実行する。一方、こうした実績から、東京ガス環境おうえん基金が75万円の助成を決定、市民水田実現へ20aの耕作放棄田の水田復帰工事に着手する。

問い合わせ先：〒270-0117 流山市北134-118 田畑 裕秋  
TEL:04-7154-2790 E-mail:h-tabata@mx7.ttcn.ne.jp